

横浜まちづくり学生会議 第 4 回フォーラム開催

「横浜まちづくり学生会議」は、学生自身が現場で考え、行動する、まちづくりの人材育成を目指して発足いたしました。在学中から、まちづくりの提案や研究、地域活動報告等の発表機会を提供し、学生同士の情報交換やまちづくりの過程を通して、自立した人間を育てていく場でもあります。

2015 年 5 月から、これまで過去 3 回行われてきたシンポジウムの成果を踏まえ、3 月 4 日（日）に横浜市中区の横浜市技能文化会館にて、第 4 回フォーラムが開催されました。当社はこれまで、横浜国立大学で景観に関する講義や演習を毎年行ってきた経緯があり、本フォーラムの協賛企業として参加いたしました。

第 4 回フォーラムには、横浜国立大学、東京都市大学、東海大学、工学院大学、関東学院大学、神奈川大学の学生が参加し、都心居住に関する研究・活動の発表が行われた後、ポスターセッションとしてそれぞれの発表内容に対する活発な質疑応答が行われました。午後の部では、「横浜を題材にこれからの都心居住を考える」と題して、学識者・学生・関係者合同での横浜関内・関外地区のまち歩きを行い、後半のグループディスカッションにて、この地区での居住を考える上での現状の評価、課題点をあげ、今後のあり方について発表が行われました。ディスカッションでは、3 つのグループが異なる観点で課題の整理と提案を行い、今後のまちづくりに繋がる多くのヒントがいただきました。

当社は、学生への技術伝承と育成、学生のまちづくりへの参画や社会進出機会の創出など、今後も社会で活躍できる人材の育成に向けて、支援・協力を続けていきます。

以 上



【第 4 回フォーラムの様子】

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL:<http://www.oriconsul.com/>
統括本部 宮内、内藤

参加者募集!

第4回フォーラム

横浜まちづくり

学生会議

- 2018年3月4日 日
10:00～17:00
- 横浜市技能文化会館 802号室
(JR 関内駅より徒歩5分)

横浜を題材にこれからの都心居住を考える

2015年に始まった横浜まちづくり学生会議は2018年に第4回フォーラムを開催します。横浜まちづくり学生会議はまちづくりに関心を持つ学生が集い、まちづくりの課題やこれからの都市のあり方を議論する機会を提供します。今回のテーマは「横浜を題材にこれからの都心居住を考える。」コンパクト+ネットワークが謳われるなか、これからの都心居住のあり方は益々重要になっているといえます。あなたも、大学や研究室の枠を超えて語り合いませんか？



PROGRAM

- 午前の部 活動・研究の発表
- 1) まちづくり事例研究の発表 各大学より活動・研究の発表
 - 2) ポスターセッション 発表内容についてポスター前で議論
- [昼休み] —
- 午後の部 ディスカッション：横浜を題材にこれからの都心居住を考える
- 1) まち歩きガイドランス
 - 2) 横浜都心部のまち歩き
 - 3) グループディスカッションと議論の報告
 - 4) 総括議論
- 閉会挨拶

- 参加大学：神奈川大 / 関東学院大 / 工学院大 / 東海大 / 東京都市大 / 横浜国大 [予定・五十音順]
- 共催：横浜まちづくり学生会議 + LLP まちテラス
- 協賛・後援：横浜市・神奈川新聞社・テレビ神奈川・日本都市計画家協会 / (株) 横浜都市みらい (株) オリエンタルコンサルタンツ 他 [予定]
- 顧問：山家京子 (神奈川大教授) / 上野正也 (神奈川大特別助教) / 中津秀之 (関東学院大准教授) / 星卓志 (工学院大教授) / 加藤仁美 (東海大教授) / 室田昌子 (東京都市大教授) / 明石達生 (東京都市大教授) / 杉山和雄 (横浜国大講師) [五十音順]
- 問い合わせ：横浜まちづくり学生会議事務局 (LLP まちテラス内) Tel: 045-323-9257 Email: machi.yokohama@gmail.com

午前の部：研究・活動報告会

より住みよい関外地区へ
～防火帯建築と大岡川を活用した、新しく、歴史を感じるまち～
横浜国立大学 理工学部 都市基盤EP (景観設計演習課題成果)

大岡川が主役のまちづくり
～大岡川に親しみ、大岡川に集まるまち～
横浜国立大学 理工学部 都市基盤EP (景観設計演習課題成果)

超高層集合住宅における居住環境評価と居住・地域意識に関する研究
～川崎市中原区武蔵小杉駅周辺地域を対象として～
東京都市大学 環境学部 環境創生学科 室田昌子研究室
徳永 悠二、神保 玲香、福岡 大祐

東京50キロ圏域内における空き家の発生要因と分析
東京都市大学 環境学部 環境創生学科 室田昌子研究室
和岡 高志、石鳥 仁二

Instagramから渋谷の街を解析する

東京都市大学 都市生活学部 都市再生研究室
白水 裕樹、鈴木 研大、可部 菜里香、小泉 洋平、平井 太久慈、田中 龍馬、河野 佳成、神崎 真貴、橋本 晶大、古沢 裕弘、山中 千深、住吉 早希

午後の部：ディスカッション

横浜を題材にこれからの都心居住を考える

これからの日本の暮らしを考える上で、「都心回帰」がキーワードになると考えられます。バブル崩壊後、都心の地価が下がり、郊外に住んでいた人が都心に戻るようになりました。近年では、子供をもたない世帯が増加し、都心に住まいを求める割合が増加しているという調査結果も存在します。この現象は、今後人口が減少し、活気のない街が多くなる日本において長期的な都市居住を考える際に必要なテーマになると考えられます。また、中核都市等におけるコンパクトシティーの構想においても都心の再編はキーワードの一つとなります。このような風潮の中、現在は商業や業務が中心である都心部の居住について考え、提案を行なっていくことが、これからの都市のあり方を考える上で重要な観点になると考えられます。特に、これから居住地の選択を迎えるであろう私たちの世代が、都心の居住において必要な要素や受け入れられない要素を評価し、提案していくことは今後のまちづくりにおいて、大変有意義なことであると言えるでしょう。今回のまちづくり会議では、横浜の臨海部に位置しており、横浜市の中核を担う都心部、関内・関外地域をグループに分かれ実際に歩き、我々がこの地域での居住を考える上で、欠かせない要素、追加すべき要素等を発見することを目的としています。そして、グループでディスカッションを行い、現状の関内・関外地域が居住する上でどのような街であるかの評価、より良い居住環境にするための提案をします。

ご挨拶

本日はお忙しい中、横浜まちづくり学生会議第4回フォーラムにご参加いただきまして誠にありがとうございます。
本会議は大学、研究室の枠を超え、都市に関心のある学生が議論を交わす場として、2015年にLLPまちテラス主催にて始まり、その後2016年には、学生主体の調整会議、並びに運営委員会を設置し、LLPまちテラスとの共催として会議運営を行っております。
第4回を迎える今回のテーマは「横浜を題材にこれからの都心居住を考える」です。立地適正化計画に基づくコンパクトネットワークが全国で語られる中、都心居住に際しては都市のあり方は選んで進めることのできない題材ではないでしょうか。一方、横浜においては市庁舎移転後の関内地区のあり方を中心に、これからの都心部のあり方を再考すべき時期にあるといえます。
第4回会議ではこのような背景を踏まえ、ご参加の皆様からのご報告、ご意見、ご質問、ご議論を通じて「横浜を題材にこれからの都心居住を考える」ことを目指します。
最後に本会議の開催にあたり多大なるご支援、ご助言を賜りました顧問の先生方並びにご後援賜りました各社、各団体の皆様にご場をお借りして厚く御礼申し上げます。
横浜まちづくり学生会議 調整会議代表 早内 玄

フォーラム進行予定

- 開会 09:30 開場
- 10:00 開会挨拶・趣意表明
- 午前の部：活動・研究報告
- 10:15 各大学より活動・研究の報告
- 11:35 各活動・研究に関するポスターセッション
- ～昼休憩(60分)～
- 午後の部：横浜を題材にこれからの都心居住を考える
- 13:00 まちあるき ガイダンス・グループ自己紹介
- 13:20 横浜関内・関外地区まちあるき
- 14:50 グループディスカッション
- ～小休憩(10分)～
- 16:00 各グループ発表・質疑(発表5分・質疑2分)
- 16:20 講評・開会
- 16:40 閉会挨拶

横浜まちづくり学生会議

共催：横浜まちづくり学生会議、LLPまちテラス
後援：東オリコンタクトコンサルティング、東神奈川新聞社、株式会社伸栄川、日本都市計画協会横浜支部、横浜市都市整備局、横浜港都市みらい顧問：白石 隆生（東京都市大教授）、上野 正也（神奈川大特任助教）、加藤 仁美（天海大教授）、杉山 雅博（横浜国大講師）、中津 秀之（関東学院大教授）、星 卓也（工芸院大教授）、室田 昌子（東京都市大教授）、山家 京子（神奈川大教授）

第4回 横浜まちづくり学生会議
～横浜を題材にこれからの都心居住を考える～

2018年3月4日
横浜市技能文化会館802号室

横浜を題材にこれからの都心居住を考える

関内・関外地区 まちあるきルートマップ

